

BARRY CALLEBAUT

要約版アニュアルレポート(日本語)

2020/2021

*Growing the world
of chocolate and
cocoa for*

25 *years*

バリーカレボア（以下「当社」といいます）は、世界有数のチョコレート・ココアメーカーであり、原材料の調達から最高品質の製品の製造までのあらゆる段階を、高い専門性をもって管理しています。

アニュアルレポートのオンライン版の参照先：

www.barry-callebaut.com/annual-report

主要指標

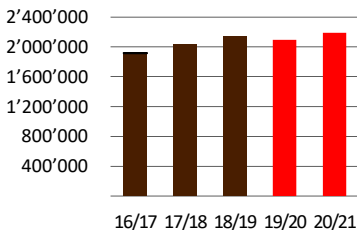
会計年度			2020/21	2019/20
		対前年度増減率		
		現地通貨 ベース	スイスフラン ベース	
販売数量	トン		4.6%	2,191,572
売上収益	百万スイスフラン	8.7%	4.6%	7,207.6
売上総利益	百万スイスフラン	10.8%	7.9%	1,147.2
営業利益(EBIT)	百万スイスフラン	20.8%	17.3%	566.7
営業利益(EBIT:非経常要因控除後) ¹	百万スイスフラン	18.9%	15.4%	566.7
1トン当たりEBIT(非経常要因控除後) ¹	スイスフラン	13.7%	10.4%	258.6
当期純利益	百万スイスフラン	27.3%	23.4%	384.5
当期純利益(非経常要因控除後) ¹	百万スイスフラン	24.2%	20.4%	384.5
フリー・キャッシュ・フロー	百万スイスフラン			355.0
調整後フリー・キャッシュ・フロー ²	百万スイスフラン			314.9

1 前年度の営業利益（EBIT：非経常要因控除後）、当期純利益（非経常要因控除後）

2 調整後フリー・キャッシュ・フローは、容易に売却可能な棚卸資産であると当グループがみなしたカカオ豆在庫のキャッシュ・フローへの影響分を調整したものです。

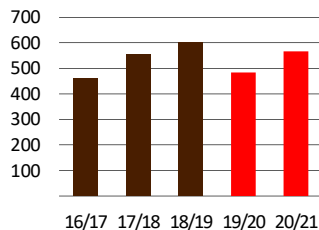
販売数量

単位：トン



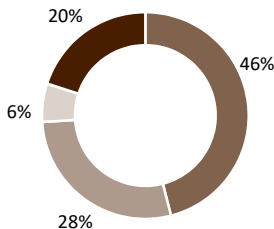
EBIT

単位：百万スイスフラン



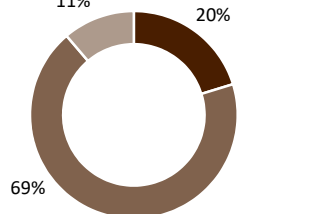
地域別販売数量

単位：トン



製品グループ別販売数量

単位：トン



■ EMEA (欧州・中東・アフリカ)

997,324

■ 米州

610,133

■ アジア・太平洋地域

138,396

■ グローバルココア

445,719

■ 食品メーカー向け製品

1,498,496

■ ココア製品

445,719

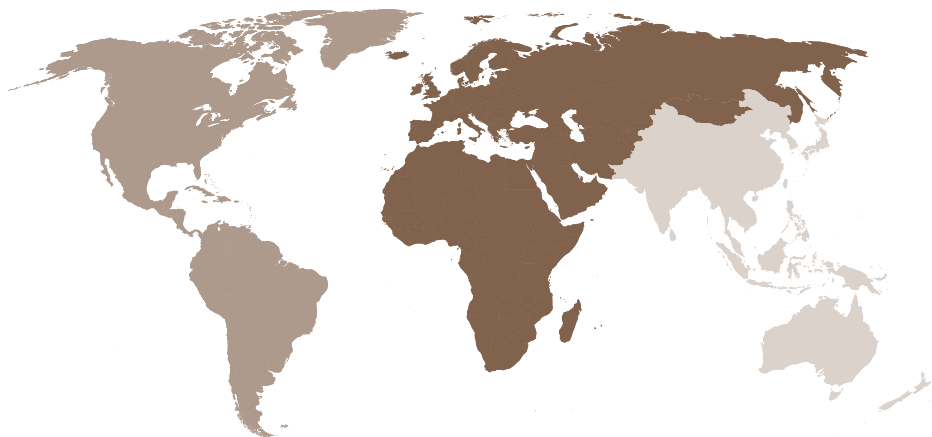
■ グルメ・スペシャルティ

247,357

バリー・カルベール・グループは、EMEA（欧州・中東・アフリカ）、AMERICAS（米州）、APAC（アジア太平洋）の3つの地域で構成されていますが、グローバルココア事業は、地域と同様のセグメントとして報告されます。

2020/21 会計年度の概況

- 販売数量は、主要成長ドライバーの寄与により全地域で+4.6%増
- 売上収益は 72 億スイスフラン。現地通貨ベースで 8.7%増
- 営業利益（EBIT）は 566.7 百万スイスフラン。現地通貨ベースで 18.9%増¹
- 当期純利益は 384.5 百万スイスフラン。現地通貨ベースで 24.2%増¹
- 健全なフリー・キャッシュ・フロー（355 百万スイスフラン）
- 中期業績ガイダンスの進捗は極めて順調に推移²
- 新たな取締役として Antoine de Saint-Affrique を選任
- 配当金は 1 株当たり 28.00 スイスフラン。配当性向は 40%



	EMEA(欧州・ 中東・アフリカ)	米州	アジア・ 太平洋地域	グローバルココア
販売数量の伸長率 前年度比	+5.5%	+7.9%	+8.7%	-2.6%
EBIT の伸長率 前年度比 現地通貨ベース	+27.9%	+8.4%	+39.5%	-6.0%¹

¹ 前年度の営業利益（EBIT：非経常要因控除後）、当期純利益（非経常要因控除後）。

² 2020/21 年度から 2022/23 年度までの 3 年間の平均：販売数量の伸長率は 5~7%、EBIT（現地通貨ベース）はこれを上回る伸長率。ただし、予測不能な重大事象が発生しないことを前提としています。

ハイライト

2020年10月

- 新ブランドのカボスナチュラルズが100%天然のカカオフルーツ素材の提供を開始

2020年11月

- 中国の深圳市に新営業所とチョコレートアカデミー™センターを開設
- ラモレラナッツを世界的に展開、センター・オブ・エクスパティーズ を開設

2021年1月

- ダイバーシティー&インクルージョン戦略として、「#oneBC」を始動

2021年2月

- CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

2021年3月

- インドのバラマティにチョコレート工場を新設
- ドイツのノルダーシュテットに乳成分不使用製品の専門工場を開設

2021年5月

- バンホーテンが史上初のルビーチョコレートドリンクパウダーを発売

2021年6月

- カカオバリーが ホールフルーツチョコレート「エヴォカオ™」を発売
- ベルギーのEurope Chocolate Companyを買収

2021年7月

- セルビアのAtlantic Starkとの間でアウトソーシング契約を締結
- ロシアのカリーニングラードに工場を開設

2021年8月

- サステナリティクス社によるESGリスク管理評価で3年連続最高評価を獲得

当社のサイトwww.barry-callebaut.com/history（英語）もご参照ください。

健全な成長、優れた収益性、 潤沢なキャッシュの創出力

当社は創立25周年を迎えました。この記念すべき年に、販売数量は成長軌道を回復して、新型コロナ前の2018/19年度のチョコレートの販売数量を超えるとともに、市場平均をも大幅に上回ることができました。

株主の皆様へ

1996年、当社の創立者Klaus Jacobsは、業界を代表するチョコレート・メーカーであるカレボーとカカオバリーの2社を合併させて、世界最高のチョコレート・ココア会社を創ろうというビジョンを描いていました。この25年間、当社はそのビジョンをベースに着実に事業を築き上げ、今では世界有数の高品質チョコレート・ココア製品メーカーに成長することができました。25周年を迎え、高い収益性と潤沢なキャッシュ創出力を示すなど、健全な成長軌道への回復を遂げた会計年度を振り返ってみたいと思います。

2020/21会計年度の販売数量は4.6%増の2,191,572トンとなり、順調な伸びを実現することができました。チョコレート事業においては、販売数量が6.5%増となり、新型コロナ前の2018/19年度の水準を超え、さらにはチョコレート菓子の世界市場の平均

(1.8%増)¹をも大幅に上回りました。売上収益は7,207.6百万スイスフランとなり、現地通貨ベースで8.7%増加しました。営業利益(EBIT)は566.7百万スイスフランとなり、現地通貨ベースで18.9%²増加しました。全地域での伸びと、良好な製品ミックス・顧客ミックスに支えられ、EBITの伸長率は販売数量の伸び率を大幅に上回りました。当期純利益は384.5百万スイスフランとなり、現地通貨ベースで24.2%²増加しました。フリー・キャッシュ・フローの創出状況は引き続き順調であり、355百万スイスフラン(前年度：317百万スイスフラン)となりました。

- 1 出典：ニールセンが算出した、25カ国、2020年9月から2021年8月までを対象とした販売数量の伸長率(電子商取引分を除外)。なお、当社の報告期間に合わせてデータの調整が必要となります。ニールセンのデータには、家庭外消費・衝動消費の一部分のみが反映されています。
- 2 前年度の営業利益(EBIT:非経常要因控除後)、当期純利益(非経常要因控除後)に対する増減率。



取締役会議長 Patrick De Maesseneire と最高経営責任者 Peter Boone

一企業として、当社は株主の皆様を含めステークホルダーの皆様のため、これまでどおり長期的価値の創出に取り組んでいます。上記の好調な業績に基づき、2021年12月8日の年次株主総会において取締役会は1株当たり2800スイスフランの配当案を提出する予定です。前年度に比べ27.3%の増配であり、これに対応して配当性向は40%となります。

2020/21会計年度も、当社はグローバルプレゼンスの強化を進めました。EMEA地域においては、2021年7月に、セルビアの大手製菓メーカー、Atlantic Starkとの間で長期アウトソーシング契約を締結しました。これは、セルビアのノビ・サドにある当社の新工場からの全量供給を前提とした、初のアウトソーシング案件となります。同月には、ロシアにおいて3カ所目

となるチョコレート工場をカーニンググレードに開設することを発表しました。2021年6月、ベルギーのEurope Chocolate Company (ECC) の買収契約を締結し、高付加価値かつ多品種のスペシャルティ製品やデコレーション用チョコレートの製造能力を強化しました。さらに2021年2月、EMEA全域におけるプラントベースフードに対する需要の高まりに対応するべく、初の乳成分不使用チョコレート専門工場をドイツのノルダーシュテットに開設しました。

米州地域においては、2021年6月、大手チョコレート製菓メーカーとの間で重要なアウトソーシング契約を締結したほか、強い信頼関係をベースとした当社のアウトソーシングモデルの成功の証ともいえる、ハーシーとの戦略的供給契約を更新しました。

アジア・太平洋地域においても、当社のプレゼンスを一段と強化しました。2021年3月、インドのバラマティに工場を新設しました。これは、世界第2位の人口を擁するインドに対する当社最大の投資額となるものです。2020年11月、中国南部で拡大を続ける顧客基盤へのサービス向上を目的として、深圳市に新営業所とチョコレートアカデミー™センターを開設しました。

今年度もまた、画期的なイノベーションが盛りだくさんでした。2021年6月、当社のグルメ製品ブランドのカカオバリーが、シェフや職人向けに100%カカオフルーツのみから作られたホールフルーツチョコレート「エヴォカオ™」を発売しました。エヴォカオ™は、当社の新ブランドのカボスナチュラルズが発売する、100%天然のカカオフルーツから作られた素材群を基に開発されました。カボスナチュラルズは、おいしくて栄養があり、しかも地球に優しい食品や飲料を求めるようになった生活者の意識変化に完全に対応しています。2021年6月、ココアのバイオニアブランドであるバンホーテンが、欧州市場のHoReCa³業界の顧客向けにルビーチョコレートから作られるチョコレートドリンクパウダーを発売しました。

サステナビリティに関しては、当社の取り組み「フォーエバーチョコレート」が掲げる、サステナブルなチョコレートを2025年までに当たり前にするという目標への前進が今年度も見られました。2016年に「フォーエバーチョコレート」を開始して以来、製品1トン当たりの炭素集約度が全社合計で17%以上減少しています。そのうえ、2020/21会計年度に当社が販売した

全製品の43%に、100%サステナブルなカカオ、あるいはチョコレートが含まれています。

当社のチョコレートサプライチェーンにおける、主なESG（環境、社会、ガバナンス）リスクの管理状況に、投資家の皆様から多くの関心が寄せられています。そこで2021年6月に、当社初のESGロードショーとオンラインセミナーを企画・開催し、当社の対応について投資家の皆様やESG評価機関の方々とディスカッションを行いました。

サステナビリティに対する当社の取り組みは高く評価されています。2021年8月、「フォーエバーチョコレート」が、包装食品業界における最も優れたサステナビリティの取り組みの一つとして3年連続でサステナリティクス社から評価されました。2020年12月、カーボンフットプリント削減に向けた当社の取り組みが、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）から3年連続で「A-」評価を獲得しました。

当社では、すべての従業員が自身の可能性に着目し、伸ばし、発揮する機会が与えられるインクルーシブ（包括的）な環境の醸成に注力しています。その一環として、2021年1月に、ダイバーシティ&インクルージョン戦略「#oneBC」を始動しました。この戦略では、2025年までに当社の上級経営幹部層におけるジェンダーバランス（男女比）を改善するとともに文化的多様性を高めるという意欲的かつ測定可能な目標を設定しています。

持続的な企業価値向上に向けた取り組みの加速

既に効果が実証されている「スマートな成

3 ホテル、レストラン、カフェの略

販売数量：+4.6%

2.2

百万トン

EBIT: +18.9%⁴

(現地通貨ベース)

566.7

百万スイスフラン

当期純利益：+24.2%⁴

(現地通貨ベース)

384.5

百万スイスフラン

フリー・キャッシュ・フロー

355

百万スイスフラン

配当案：

配当性向 40%

28.00

1株当たり

スイスフラン

長」戦略を、引き続き、収益性とキャッシュ創出力に重点を置く長期戦略の実行の中心に据えていきます。当社は世界各地にある64の工場拠点、業界最高のイノベーションパイプライン、コストリーダーシップ、影響力の強いサステナブルな製品群を活用して、より上位の目標や価値の追求を加速しています。

こうしたことを背景に、2020/21年度から2022/23年度までの3年間の平均で「販売数量の伸長率を5～7%、（現地通貨ベースでの）EBITは販売数量を上回る伸び率⁵」に設定した中期業績ガイダンスが達成できるものと見込んでいます。

最後に、従業員の皆さんに感謝したいと思います。皆さんの顧客重視の姿勢や起業家精神のおかげで、今日までの25年にわたり成長の道を順調に歩んでくることができました。さらに、顧客の皆様からの継続的なご支援と、株主の皆様からの変わらぬ信頼に対して、感謝を申し上げます。



Patrick De Maeseneire

取締役会議長



Peter Boone

最高経営責任者

4 前年度の営業利益（EBIT：非経常要因控除後）、当期純利益（非経常要因控除後）に対する増減率。

5 予測不能な重大事象が発生しないことを前提としています。

株主の皆様のための サステナブルな長期的価値

バリーカレポーが独自の存在である理由

- 高品質のチョコレート・ココア製品の世界的リーダー
- 実証済みの長期戦略
- 市場の販売数量の伸長率や利益を継続的に上回ってきた実績
- イノベーションで他をリード
- 食品メーカーにとって最優先の戦略的アウトソーシングパートナー
- バリューチェーン全体でのコストリーダーシップ
- プロや職人の顧客にとっての主要調達先
- サステナビリティの先駆者

配当

取締役会は、2021年12月8日の年次株主総会で、1株当たり28.00スイスフランの配当を株主の皆様へ提案します。これに対応して配当性向は40%となります。

サステナビリティの評価／信用格付け

- サステナリティクス社が「フォーエバーチョコレート」を第3位にランク付け
- CDPが当社をサプライヤー・エンゲージメント・リーダー（A-格）に選定
- ムーディーズの格付け：Baa3/stable
- スタンダード&プアーズの格付け：BBB-/stable

中期業績予想

2020/21年度から2022/23年度までの3年間の中期業績予想（平均）：

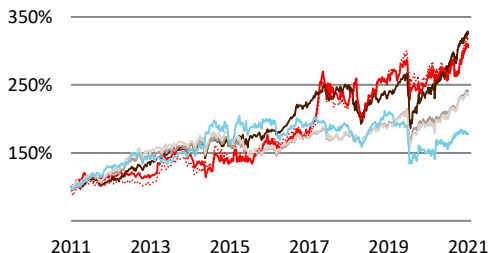
- 販売数量の伸長率は5~7%
- EBIT（現地通貨ベース）は販売数量を上回る伸長率¹

¹ 予測不能な重大事象が発生しないことを前提としていません。

- 当社株式
- SMI 中型株指数 (SMIM)
- スイスパフォーマンス指数 (SPI)
- SXI スイスサステナビリティ 25 指数 (SSUSTX)
- 当社株式 (ユーロ建て)
- ユーロストックス 食品・飲料株指数

株価の推移

当社株式はスイス証券取引所に上場



取締役会

Patrick De Maeseneire 取締役会議長
Markus R. Neuhaus 取締役会副議長
Fernando Aguirre
Angela Wei Dong
Nicolas Jacobs
Elio Leoni Sceti
Tim Minges
Yen Yen Tan

経営会議



Peter Boone
最高経営責任者



Ben De Schryver
最高財務責任者



Olivier Delaunay
最高執行責任者



Pablo Perversi
最高イノベーション・サステナビリティ・品質責任者兼
グルメ事業グローバルヘッド



Steven Retzlaff
グローバルコア担当
プレジデント



Massimo Selmo
最高調達責任者



Rogier van Slijter
EMEA 地域担当
プレジデント



Jo Thys
アジア・太平洋地域担当
プレジデント



Masha Vis-Mertens
最高人事責任者



Steve Woolley
米州地域担当
プレジデント & CEO

連結損益計算書

会計年度	2020/21	2019/20
単位：千スイスフラン		
売上収益	7,207,595	6,893,146
売上原価	(6,060,392)	(5,829,445)
売上総利益	1,147,203	1,063,701
マーケティング及び営業費	(135,376)	(140,773)
一般管理費	(430,390)	(416,465)
その他の収益	3,060	4,820
その他の費用	(17,809)	(28,131)
営業利益 (EBIT)	566,688	483,152
金融収益	3,628	6,978
金融費用	(105,297)	(109,425)
税引前利益	465,019	380,705
法人所得税費用	(80,514)	(69,211)
当期純利益	384,505	311,494
当期純利益の帰属：		
当社株主	383,939	316,054
非支配持分	566	(4,560)
1株当たり当期純利益		
1株当たり当期純利益（スイスフラン）	70.04	57.66
希薄化後1株当たり当期純利益（スイスフラン）	69.84	57.46

連結包括利益計算書

当期純利益	384,505	311,494
その後に損益計算書に振り替えられる可能性のある項目	56,754	(210,304)
損益計算書に振り替えられない項目	8,991	29,986
その他の包括利益（税引後）	65,745	(180,318)
当期包括利益合計	450,250	131,176
当期包括利益の帰属：		
当社株主	449,660	136,050
非支配持分	590	(4,874)

連結貸借対照表

資産の部

8月31日現在	2021	2020
単位：千スイスフラン		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,095,831	1,385,976
営業債権及びその他の流動資産	759,951	610,785
棚卸資産	2,043,333	1,909,917
デリバティブ金融資産	290,642	365,984
その他の流動資産項目	76,321	68,350
流動資産合計	4,266,078	4,341,012
非流動資産		
有形固定資産	1,604,705	1,491,753
使用権資産	259,928	186,948
無形資産	995,483	985,684
その他の非流動資産項目	117,824	135,713
非流動資産合計	2,977,940	2,800,098
資産合計	7,244,018	7,141,110

負債及び資本の部

流動負債		
当座借越及び短期借入債務	224,066	601,521
営業債務及びその他の流動負債	1,433,470	1,119,643
デリバティブ金融負債	350,911	528,492
その他の流動負債項目	146,505	120,723
流動負債合計	2,154,952	2,370,379
非流動負債		
長期借入債務	2,154,518	2,156,653
従業員給付債務	138,333	154,041
その他の非流動負債項目	110,998	104,770
非流動負債合計	2,403,849	2,415,464
負債合計	4,558,801	4,785,843
資本		
資本金	110	110
利益剰余金及びその他の準備金	2,682,747	2,353,387
当社株主に帰属する持分合計	2,682,857	2,353,497
非支配持分	2,360	1,770
資本合計	2,685,217	2,355,267
負債及び資本合計	7,244,018	7,141,110

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー

会計年度	2020/21	2019/20
単位：千スイスフラン		
当期純利益	384,505	311,494
法人所得税費用	80,514	69,211
減価償却費、償却費及び減損損失	230,696	230,186
支払利息／(受取利息)	93,584	95,337
従業員給付債務の増加額／(減少額)	(7,940)	(5,490)
運転資本の増減額	(41,137)	20,866
引当金から取り崩された支払額	16,853	4,492
その他の非キャッシュ項目	21,870	16,587
営業活動から生じたキャッシュ	778,945	742,683
利息の支払額	(95,358)	(94,116)
法人所得税の支払額	(67,950)	(55,019)
営業活動によるキャッシュ・フロー	615,637	593,548

投資活動によるキャッシュ・フロー

会計年度	2020/21	2019/20
単位：千スイスフラン		
有形固定資産の取得	(227,190)	(233,430)
無形資産の取得	(48,054)	(47,464)
投資活動によるその他のネットキャッシュ・フロー項目	13,658	(8,388)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(261,586)	(289,282)

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入債務によるネットキャッシュ・フロー	(411,626)	281,627
長期借入債務によるネットキャッシュ・フロー	(28,296)	517,714
リース負債の返済による支出	(39,943)	(38,164)
当社株主への配当金の支払額	(120,715)	(142,710)
自己株式の取得による支出	(18,400)	(27,332)
非支配持分の増減による影響	-	(9,110)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(618,980)	582,025

現金及び現金同等物の為替変動による影響	14,823	(29,107)
現金及び現金同等物の（減少額）／増加額	(250,106)	857,184

現金及び現金同等物の期首残高	1,282,373	425,189
現金及び現金同等物の期末残高	1,032,267	1,282,373
現金及び現金同等物の（減少額）／増加額	(250,106)	857,184

直近5年度の概況

当社グループの主要指標 ¹		年平均 成長率(%)	2020/21	2019/20	2018/19	2017/18	2016/17 (修正再表示後)
連結損益計算書							
販売数量	トン	3.4%	2,191,572	2,095,982	2,139,758	2,035,857	1,914,311
売上収益	百万円	1.4%	7,207.6	6,893.1	7,309.0	6,948.4	6,805.2
売上総利益	百万円	4.6%	1,147.2	1,063.7	1,197.2	1,157.1	958.8
EBITDA(非経常要因控除後)	百万円	7.7%	795.2	711.9	775.0	728.3	592.1
営業利益(EBIT)	百万円	5.3%	566.7	483.2	601.2	554.0	460.2
営業利益(EBIT:非経常要因控除後)	百万円	6.4%	566.7	491.0	601.2	554.0	442.1
EBIT マージン(非経常要因控除後)	%		7.9%	7.1%	8.2%	8.0%	6.5%
1トン当たりEBIT(非経常要因控除後)	円	2.9%	258.6	234.2	281.0	272.1	230.9
当期純利益	百万円	8.1%	384.5	311.5	368.7	357.4	281.1
当期純利益(非経常要因控除後)	百万円	10.0%	384.5	319.3	394.7	357.4	263.0
フリー・キャッシュ・フロー	百万円		355.0	317.0	289.7	311.9	475.6
調整後フリー・キャッシュ・フロー ²	百万円		314.9	403.8	256.8	316.6	n/a
連結貸借対照表							
正味運転資本	百万円	4.5%	1,241.8	1,192.0	1,363.2	1,074.4	1,042.5
非流動資産	百万円	4.7%	2,977.9	2,800.1	2,650.0	2,505.5	2,477.7
設備投資額	百万円	5.7%	275.2	280.9	279.6	217.9	220.4
資産合計	百万円	7.3%	7,244.0	7,141.1	6,508.1	5,832.0	5,466.5
正味借入債務	百万円	3.6%	1,281.3	1,365.9	1,304.7	1,074.3	1,110.9
株主資本	百万円	6.2%	2,682.9	2,353.5	2,399.3	2,269.8	2,111.2
経営指標							
投下資本利益率(ROIC) ³	%		12.2%	10.3%	12.5%	12.2%	11.0%
株主資本利益率(ROE) ³	%		14.3%	13.2%	15.2%	15.7%	12.5%
負債比率	%		47.8%	58.0%	54.4%	47.3%	52.6%
インタレスト・カバレッジ・レシオ			7.8	6.9	5.2	7.2	4.9
EBITDA 有利子負債倍率(非経常要因控除後)			1.7	1.9	1.5	1.5	1.9
売上高設備投資比率	%		3.8%	4.1%	3.8%	3.1%	3.2%
株式							
当会計年度末現在の株価	円	14.0%	2,334	2,000	2,024	1,728	1,380
発行済株式総数			5,488,858	5,488,858	5,488,858	5,488,858	5,488,858
当年度末現在の時価総額	百万円	14.0%	12,811.0	10,977.7	11,109.4	9,484.7	7,574.6
1株当たりEBIT(非経常要因控除後)	円	6.4%	103.4	89.6	109.7	101.0	80.6
1株当たり当期純利益	円	10.0%	70.0	57.7	67.6	64.9	47.8
1株当たりキャッシュ・フロー	円		64.8	57.8	52.9	56.9	86.7
1株当たり配当性向	円	8.8%	28.0	22.0	26.0	24.0	20.0
配当性向	%		40%	39%	39%	37%	39%
当年度末現在の株価収益倍率			33.3	34.7	30.0	26.6	28.9
その他							
従業員数		5.0%	12,783	12,335	12,257	11,570	10,528
加工されたカカオ豆	トン	1.6%	987,991	982,725	1,002,025	956,440	925,544

1-3上表における主要指標の定義やすべての脚注の記述に関しては、2020/21年度アニュアルレポート11ページの「直近5年度の概況」をご参照ください。

お問い合わせ先

バリーカレポー本社

Barry Callebaut AG

Hardturmstrasse 181

8005 Zurich, Switzerland

電話 +41 43 204 04 04

www.barry-callebaut.com

インベスターリレーションズ (IR)

Claudia Pedretti

インベスターリレーションズ責任者

電話 +41 43 204 04 23

investorrelations@barry-callebaut.com

メディアリレーションズ

Frank Keidel

メディアリレーションズ責任者

電話 +41 43 268 86 06

media@barry-callebaut.com

住所変更

ShareCommService AG

Europastrasse 29

8152 Glattbrugg, Switzerland

電話 +41 44 809 58 52

Fax +41 44 809 58 59

将来予測情報に関する説明について

本レポートにおける当社の事業に関する一部の説明は、将来の見通しに係る内容であり、したがって、将来の展開に関する経営者の現時点での想定に基づいています。そのような将来予測情報に関する説明が当社に関係するものである場合には、「考える」「見積り」「意図する」「可能性がある」「だろう」「予想する」「予測する」といった言葉やこれらに類する表現によって特定できるようになっています。将来予測情報に関する説明には、将来の事象に関連することからリスクや不確実性が伴います。実際の結果が、いくつかの要因により目標や予想、予測と大きく乖離することがあります。当社の将来の業績に悪影響を与える可能性がある主なリスク要因として、特に、全般的な経済状況、為替レートの変動、競合製品や価格設定に係るプレッシャー、感染症の世界的大流行または流行、自然災害、税制の変更や規制の動きなどが挙げられ、これらについては、2020/21年度アニュアルレポートにおいて詳細に開示されています。将来予測情報に関する説明は2021年11月10日時点でのみ正確であるため、これに過度に依拠しないようご注意ください。当社は、将来予測情報に関する説明を更新または修正して公表する義務を一切負わないものとします。

IR カレンダー

2021年12月8日

2021年年度次株主総会 チューリッヒ

2022年1月26日

2021/22年度第1四半期主要売上指標

2022年4月13日

2021/22年度中間決算

2022年5月11~12日

キャピタル・マーケット・デイ

2022年7月20日

2021/22年度第3四半期主要売上指標

2022年11月2日

2021/22年度期末決算

2022年12月14日

2022年年度次株主総会 チューリッヒ

奥書

発行者
Barry Callebaut AG
Hardturmstrasse 181
8005 Zurich
Switzerland

コンセプト
Source Associates,
Zurich, Switzerland

写真撮影
Jos Schmid
Zurich, Switzerland

印刷前工程/印刷
Linkgroup AG, Printlink AG
Zurich, Switzerland

本要約版アニュアルレポートは英語とドイツ語で発行されています。

印刷 Printlink AG
この印刷が気候変動に影響を与えることはありません。

本要約版アニュアルレポートはFSC認証紙に印刷されています。



Barry Callebaut AG (本社)
Hardturmstrasse 181
8005 Zurich
Switzerland

電話 +41 43 204 04 04
headoffice@barry-callebaut.com